

調 査 研 究 結 果

	種目	発行者	教科書名
観 点	美術	開隆堂出版株式会社	美術 1 発見と創造 美術 2・3 探求と継承
取 扱 内 容 〔 学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科 、 各 学 年 の 目 標 内 容 〕 、 内 容 の 構 成 ・ 排 列	<p>○ 絵や彫刻については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 身近な風景を観察して絵を描いたり、材料の形や色彩、質感などの特徴を生かして表したりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する。</p> <p>第2・3学年～ 墨の濃淡を工夫して、奥行きや広がりのある絵を描いたり、心に残った出来事や情景を立体に表したりする活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する。</p> <p>○ デザインや工芸については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 身近なものの形や色彩から模様を考えたり、木の特徴やよさを生かした使いやすしい工芸品をつくらしたりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する。</p> <p>第2・3学年～ 伝えたい内容に合わせた本のデザインを考えたり、籐や竹、ひもなどを編んだ工芸品のデザインを工夫したりする活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する。</p> <p>○ 鑑賞については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 作者の表現した思いや作風などについて話し合う活動を通して、表現の方法の違いや美術作品についての基礎的な理解や見方を広げたり、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わったりする。</p> <p>第2・3学年～ 障屏画や水墨画のよさや美しさについて話し合う活動を通して、美術文化の見方や感じ方などについての理解や見方を深めたり、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わったりする。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 「ロゴマークで印象づける」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、身の回りのロゴタイプの形や色彩を交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第2・3学年～ 「錯視の効果を生かして」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、伝えたい目的や内容と驚きやユーモアの工夫を交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 「祭りの造形」の題材において、地域に伝わる祭りを紹介し、社会科との関連をマーク等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫</p> <p>第2・3学年～ 「安心と安全のデザイン」の題材において、校内の安全を考える活動を紹介し、保健体育科との関連をマーク等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫</p>		

<p>使 用 上 の 配 慮 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全学年の巻末で、発想のための「学びの資料」として、まとめのための資料や表現のための技法などを紹介したり、第2・3学年の空間を意識した抽象彫刻の表現題材で、札幌駅のパブリックアートを紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 全学年の題材の冒頭で、生徒に身に付けさせたい力をマークや囲みで示したり、全学年の題材の随所で、学習のポイントを示したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいよう、各題材の内容ごとに色で示すなど判読しやすい文字や配色にしたり、用具の安全な使い方や配慮すべき内容についてマークを示したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、QRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
<p>そ の 他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

調 査 研 究 結 果

	種目	発行者	教科書名
観 点	美術	光村図書出版株式会社	美術1 美術2・3
取 扱 内 容 〔 学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科 各 学 年 の 目 標 内 容 〕 、 内 容 の 構 成 ・ 排 列	<p>○ 絵や彫刻については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 身近な人物のしぐさからイメージを広げて絵を描いたり、自然物や身近にあるものの材料の形や色彩、材質を生かして表したりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する。</p> <p>第2・3学年～ 目の錯覚を利用して形や色彩のトリックを使った絵を描いたり、想像の生物のおもしろさや動きを立体に表したりする活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する。</p> <p>○ デザインや工芸については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 形や色彩を工夫して文字のデザインを考えたり、用途や条件に応じて発想を広げ、様々な用途の焼き物をつくったりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する。</p> <p>第2・3学年～ 地域の魅力を伝えるデザインを考えたり、座る人や使う目的に合わせて椅子のデザインを工夫したりする活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する。</p> <p>○ 鑑賞については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 版の表現のよさや多色刷りの美しさなどについて話し合う活動を通して、版画と絵の違いや美術作品についての基礎的な理解や見方を広げたり、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わったりする。</p> <p>第2・3学年～ 浮世絵の大胆な構図や明快な色彩など日本の美術が西洋の美術に与えた影響について話し合う活動を通して、我が国の伝統的な美術作品などについての理解や見方を深めたり、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わったりする。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 「心ひかれるこの風景」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、風景を描いた作者の思いや表現の工夫を交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第2・3学年～ 「あかりがつくる空間」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、様々な光が生活に与える印象や効果を交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 「生活をいろどる文様」の題材において、エッセイの敷き詰め模様を紹介し、数学科との関連をコラム等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫</p> <p>第2・3学年～ 「メッセージを伝える」の題材において、ポスターなどの広告に入るコピーを紹介し、国語科との関連をコラム等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫</p>		

<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全学年の巻末で、発想のための「学習を支える資料」として、マッピングや話合いの仕方など発想を広げる方法を紹介したり、第2・3学年の様々な地域の美術文化の鑑賞題材で、伝統的なアイヌ文様を紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 全学年の題材の冒頭で、生徒に身に付けさせたい力を囲みで示したり、表現につながる鑑賞作品と鑑賞が深まる問いを示したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいよう、各題材の内容ごとに色で示すなど判読しやすい文字や配色にしたり、作品をつくる際の安全について注意喚起のマークを示したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、QRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
<p>その他</p>	

調 査 研 究 結 果

観 点	種目	発行者	教科書名
取 扱 内 容 〔 学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科 、 各 学 年 の 目 標 、 内 容 の 構 成 ・ 排 列	美術	日本文教出版株式会社	美術1 美術との出会い 美術2・3上 学びの実感と広がり 美術2・3下 学びの探求と未来
	<p>○ 絵や彫刻については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 身近にあるものや愛着のあるものをよく見て絵を描いたり、木の枝や石、廃材などの形や色彩、質感を生かして表したりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する。</p> <p>第2・3学年～ 視点の違いや構図を工夫して印象の変化を生かした絵を描いたり、量感や動勢などを生かし、感情やイメージを立体に表したりする活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する。</p> <p>○ デザインや工芸については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 自然物や人工物を単純化して模様を考えたり、紙の特性、形や色彩に着目し、美しい装飾をつくったりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する。</p> <p>第2・3学年～ 布の質感や染色の技法を生かしたデザインを考えたり、木や革などの材料の特性を生かした工芸品のデザインを工夫したりする活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する。</p> <p>○ 鑑賞については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 原始美術の造形的なよさや美しさなどについて話し合う活動を通して、美術文化や美術作品についての基礎的な理解や見方を広げたり、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わったりする。</p> <p>第2・3学年～ 現代美術の美しさや面白さについて話し合う活動を通して、作者の意図と創造的な工夫などについての理解や見方を深めたり、心豊かに生きることと美術とのかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わったりする。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 「じっくり見ると見えてくる」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、身の回りにあるものの形や色彩などの特徴を交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第2・3学年～ 「季節を楽しむ心」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、季節感を取り入れた和菓子や食器のデザインを交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 「自然の美しさから生まれた」の題材において、雪の結晶や蜂の巣のハニカム構造を紹介し、理科との関連を写真等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫</p> <p>第2・3学年～ 「魅力を伝えるパッケージ」の題材において、お祝いの気持ちを伝える水引を紹介し、外国語科との関連を写真等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫</p>		

<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全学年の巻末で、「学びを支える資料」として、技能の習得や題材に関連した鑑賞資料などを紹介したり、第2・3学年の暮らしに息づくパブリックアートの鑑賞で、道内の公園にある屋外彫刻を紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 全学年の題材の冒頭で、生徒に身に付けさせたい力をマークや囲みで示したり、全学年の題材の随所で、造形的な視点を示したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいよう、各題材の内容ごとに色で示すなど判読しやすい文字や配色にしたり、用具の安全な使い方などについて注意喚起するマークを示したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、QRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
<p>その他</p>	<p>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。